

近畿第二ブロック 年間テーマ・目標

「一期一会の精神を大切にしましょう」

同 風

機関紙命名 鵬雲齋大宗匠
題字 揮毫 納屋宗淡宗匠
発行所 (社)茶道裏千家淡交会青年部
近畿第二ブロック
発行人 ブロック長 青山 総一郎

ご挨拶
ブロック長
青山 総一郎



平成二十三年〜二十四年度近畿第二ブロック長を仰せつかることになりました、大阪北支部・天神青年部の青山総一郎でございます。どうぞよろしくお願い致します。



青年部綱領
われわれ茶道を愛好する青年としての自覚により淡交会の諸活動に協力し、お茶を通じて良識ある近代人としての人間形成に努め、同志の結合によって結ばれた友情と情熱で正しい地域社会発展のために努めよう。

さて、今期のテーマとして「一期一会の精神(ころ)を大切にしましょう」を掲げさせて頂きました。人とのご縁・人との出会い・淡交会活動への感謝の気持ちを大切にすることをモットーにこのテーマを考えました。今期の活動として、

- ① 三十周年記念茶会の実施
② 前期から開設しました近畿第二ブロックHPの進化
③ 近畿第二ブロック研修会の実施
④ 茶道を通じた交流事業の実施
⑤ 第四回サマーコンファレンスへの参画
⑥ 一般社団法人改革を踏まえた今後の運営のあり方への検討を推し進めて参ります。

Table with 2 columns: Date and Event Name. Title: 平成24年度 行事予定. Includes events like 近畿第二ブロック協議会, チャリティー茶会, サマーコンファレンス, etc.

Table with 2 columns: Date and Event Name. Title: 平成23年度 行事. Includes events like 新旧ブロック協議会, 第50回近畿地区大会, 東日本大震災チャリティー茶会, etc.



第五十回 近畿地区大会
第五十回 近畿地区大会を三月十二日(土)和歌山県和歌山県民文化会館および、アバローム紀の国にて開催いたしました。紀州青年部、きのくに青年部、和歌山支部学校茶道連絡協議会で、薄茶席を担当させて頂きました。なお、前日に東日本大震災が発生し、状況を鑑みて

第五十回 近畿地区大会

京の茶の湯
お茶人のための京都案内
創刊20周年「淡交別冊 愛蔵版」第60号記念 特別ふるく付き
11月中旬発売 ■定価1,600円(税込)
淡交社 〒603-8691 京都市北区堀川通鞍馬口上ル TEL075(432)5151



翌日予定しておりました式典などは中止いたしました。

東日本大震災 チャリティー茶会

～とどけ！西から東へ祈りの風を～

6月25日～26日：生國魂神社内 玉秀庵・参集殿



金子 芳

雨の予報に反し、暑いくらいのお天気となった二日間、皆様汗だくになってお越しただいていられるにもかかわらず、受付の際は笑顔でご挨拶いただき、たいへん有難く思いました。受付に設置した義援金箱にもたくさんのお気持ちをお持ち、チャリティーという主旨にご賛同いただいた多くのお客様にお越しいただけたこと、また、二日目の終礼での先生方のお言葉が胸に沁み、このような茶会にスタッフの一人として参加させていただけただけですが、改めて有難いことだと感じました。

紀州青年部



今回のお茶会では、案内を担当させていただきました。前日から、雨模様のお天気で傘を差しながらの案内を覚悟していましたが、二日間とも天気に恵まれ、大変暑くなってしまいました。多くの方にご賛同いただき、皆様の震災復興の願いを強く感じることができました。最初は、人数整理や案内がたどたどしく、菓子席の皆様にご迷惑をおかけしてしまいました。皆様に感謝しています。おお客様から励ましや感謝のお言葉をいただき、少しでも震災からの復興に協力しようという一体感のある会に参加でき、多くを学ぶことができました。ありがとうございました。

なみはや青年部

小杉 仁志

薄茶席では昨年の豪州ミッシヨンの折に御家元様から頂戴した「無事は貴人」の扇面を被災地の皆様の御無事を願い、掛けさせていたいただきました。お釜は昨年急逝された、八木宗新前ブロック長のお母様からブロックに御寄贈いただきました我々青年部の仲間でもある角谷和彦作蓬萊山地紋真形釜を使わせていただきました。水指は何人ものオランダ人が賑やかに集う様子を描いたオランダ人絵水指を使いました。私は、薄茶席でお点前を担当させて頂きました。生國魂神社でのお茶会も、御園棚のお点前も初めてでしたし、今まで他の青年部の方々と接する機会もほとんどなかったもので、緊張と不安でいっぱいでした。一席の時間がとても短く、時間ばかり気にして失敗もしましたが、二席目からは心にゆとりができ、正客と半東の会話も自然と聞こえてきて、楽しくお点前をする事ができました。日頃、別々の青年部で活動している皆さんが一つの目的を果たそうと力を合わせている事に感動して、私もその一員になれた事が大変嬉しく、心に残る二日間



東谷 歩

わせていただき蓋置の輪つなぎと合わせて震災の支援の輪を全国の青年部の仲間達と手をつないで活動していく様子を表現させていたいただきました。親支部・学茶・青年部が一つとなって開催した初めてのお茶会は、緊張の中にも本当に楽しい三日間でした。参加いただきました皆様に感謝いたしますとともに御礼申し上げます。なみはや青年部 山北 康博

床	坐忘齋御家元 筆扇面 無事は貴人
花入	伊吹九蓋草・青花銀梅・松林仙翁
香合	坐忘齋大匠好箱九紋透 正玄造
茶碗	東大寺古村 道の字
茶杓	蓬萊山地紋 角谷和彦造
薄器	淡々斎好 御園
水指	色絵オランダ水指 加藤利昇造
茶筒	菊桐時絵 鴨雲齋大匠在判箱 雅峯造
替	鴨雲齋大匠 銘夢を閉こう
替	大樋白釉 銘 壺中天
替	坐忘齋御家元箱
替	たちあお、鴨雲齋大匠在判箱
替	即全造
替	青楓 鴨雲齋大匠在判箱 桐山造
蓋置	輪つなぎ
建水	エゾゴ
菓子	あゆ水
器	坐忘齋御家元好箱 桐竹盆
鉢盆	つるべ 鴨雲齋大匠好箱 萩井好斎造
火入	麦葉手
平	羽平造
平	於玉秀庵

和親棚

坐忘齋家元好み
一九〇、〇〇〇円
(消費税込・送料別途)



お問い合わせ先
株式会社 ミリエーム
〒602-0006 京都市上京区小川通寺之内上2丁目神昌院町648-1
TEL (075) 451-5111 FAX (075) 451-7484

近畿第二ブロック研修会

出 会 い ～ 「一 期 一 会 」 ～

10月1日～2日：ハートンホテル南船場

十月一日・二日ハートンホテル南船場にて、ブロック研修会を開催いたしました。今回の研修会は、初心者から経験者まで幅広く楽しめる内容になるよう企画しました。開会の前には大阪南支部永和・なにわ青年部によるお呈茶が行われました。今年、近畿ブロックが三つに分かれて三十年という節目の年ということ、近畿ブロック内のお菓子とお茶碗を使用し呈茶をいたしました。

開会式に続いて、総本部橋本次長より、総本部報告をいただき、その後近畿第二地区より台風十二号により甚大な被害を被った和歌山・南紀支部に義援金が贈られました。研修では、お香についての講義とゲームのような体験香を実施した後、三島敏明先生による道具のお話、オークションやセリのパフォーマンスを見せていただきました。懇親

会では、名刺ビンゴゲームを行い、ご来賓の皆様、ブロック間交流で参加いただいた四国ブロックの皆様と交流し、青年部の枠を超え交流していただけたと思います。二日目は金澤先生による実技指導、高祖全国委員長から助言をいただきました。研修会のテーマにふさわしく、会員それぞれたくさんのお出合いがあった研修会になったと思います。

紀州青年部 松山 由香



「全体研修」
お香について
聞香体験



「全体研修」
京茶道具屋のよもやま話

研修会スケジュール

- 10月1日(土)
 - 12:30～13:30 受付 呈茶
 - 13:30～14:00 開会式
 - 14:00～14:20 総本部報告
 - 14:20～14:30 第24期 L・T 出向員報告
 - 14:40～15:20 全体研修1 「お香について」 三井 正昭 氏
 - 15:30～16:30 全体研修2 聞香体験 堀井 曉蓉 先生
 - 16:45～17:45 全体研修3 「京茶道具屋のよもやま話」 三島 敏明 氏
 - 18:50～21:00 夕食・懇親会
- 10月2日(日)
 - 9:00～11:00 実技指導 今日庵業舩部 金澤 宗維 先生
 - 11:20～11:40 青年部全国委員会 助言 高祖千奈美 委員長
 - 11:40～12:00 閉会式



懇親会



「全体研修」
京茶道具屋のよもやま話



「実技指導」
金澤宗維先生に割稽古のご指導をいただきました。茶道の基礎である割稽古を手や帛紗の位置、動きなど、細部にわたってご指導くださいましたので大変勉強になりました。

また、お道具の扱い方についても「お道具は百年、二百年先に使う人のことを考えて大切に扱いなさい。」と教えていただきました。このような貴重な機会をいただけたことに大変感謝しております。

なみはや青年部 大森 弘美

坐忘齋御家元御好

極上御濃茶
松花の昔
清浄の白

鵬雲齋大宗匠御好

極上御濃茶
慶知の昔
松雲の昔
喜雲
瑞泉の白
珠の白
松柏

全国並びに開茶品評会第一位
自園茶産林水産大臣賞29回受賞

本店 京都府宇治市小倉町寺内88
伊勢店 伊勢市栄町1-2-2009
西園店 京都市西院通御池下ル
電話(075)5232009
茶房元産 水端休館茶業

取次店 全国有名茶店・茶道具店

www.marukyu-koyamaen.co.jp

「お詰めは」かんばんし

坐忘齋宗匠御好

お濃茶 志原の昔
お薄茶 五雲の白

鵬雲齋大宗匠御好

お濃茶 梅と
お薄茶 好方白

創業四百五拾年

お抹茶の店

上林春松本店
京都府宇治市宇治
TEL 0120-222-5334
FAX 0120-222-5334

販売店 直営 小売店 宇治 鶴鳴の上林春松店
JR京都府宇治 高島 地下 一階 茶室 売場
JR京都府 伊勢丹 地下 一階 茶室 売場
東京 新宿 伊勢丹 本館 階 特設 茶室 売場
岡山 南 伊勢丹 本館 階 特設 茶室 売場
石川 金沢 伊勢丹 本館 階 特設 茶室 売場

■カタログ進呈■地方発送承ります。
http://www.shunsho.co.jp/



題字は鵬雲斎大宗匠筆
発行所
(社) 茶道裏千家淡交会
大阪四支部青年部連合会
発行人
会長 中谷庄司朗



ご挨拶

大阪四支部青年部連合会
会長 中谷庄司朗

おかげさまをもちまして、連合会会長をお引き受けして一年、何とか無事に務めさせていただきました。これも大阪四支部の各幹事長様はじめ、親先生の皆様、会員各位のご支援の賜と心より感謝申し上げます。



連合会ならではの取り組みとして開講させていただきました。毎回多彩な講師をお招きし、茶道を通して日本文化への思いを深める場として、会員の皆様にご好評をいただいております。準備から当日の設営に至るまで教養講座を支えていただい

佐川美術館展観

五月二十九日

展観の当日はまれに見る大型台風の中、佐川美術館での特別展覧、呈茶が行われました。広い美術館の見学、樂先生のお茶室、フランスでの作陶の様子を学芸員の方にご説明をいただいた後、樂先生がフランスで作陶されたお茶碗で一碗を頂戴しました。落款がなく

不思議に思っていましたら、日本での作陶の確しか入れないとお聞きしました。お茶室見学では、自然光を取り入れた工夫や床と外の水面が水平でのこだわりなど説明をいただき、四季折々で違った風景の楽しめるお茶室にてくつろぎのひとときを過ごしました。帰宅するころには、台風も温帯低気圧に変わり、無事に解散できてなによりでした。



おります連合会スタッフの皆さんにもこの場をお借りして感謝申し上げますと存じます。来年度も、引き続き教養講座の充実に努めますとともに、四支部青年部のかけ橋として、大阪の地で茶道を志す若き社中の絆を更に深めていくことのできますよう、連合会スタッフ一同努力を重ねてまいります。一層のご支援とご指導を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

第四三四回茶道教養講座が今日庵業躰、土本宗丘先生より「お茶のお菓子について」という演題で、六月二十二日に大阪住まい情報センターに於いて行われました。前半は資料を参考に松屋久政の「久政茶会記」に書かれているお菓子を一つずつ細かに解説しながら、今とは違って栗や昆布、麩の焼きと甘くなく素材そのものが出されていたと教えていただきました。



後半は花びら餅の由来や利休の茶会菓子そして、有名な「朝顔の茶事」のこと、利休が大切にしていた「橋立の茶壺」のことなど、利休にまつわるお話を詳しくしていただき、普段の稽古では学ばないことを沢山教えていただきました。

茶道具商

西田龍善堂

〒542-0085
大阪市中央区心斎橋筋2-2-22
TEL 06(6211)3210

HARMONY & SINCERITY
SINCE 1902

中谷運輸株式会社

大阪市港区海岸通1-5-22 〒552-0022
Tel.06-6572-5021(代) Fax.06-6574-1023
http://www.nakatani-grp.com





池田周弘参事様のご挨拶から始まり船が動き始めると、青年部河島国男様お点前で御献茶式が行われ、周りの船も静まりかえり、篝火の火が夜空に高く燃え上がりました。震災でお亡くなりになられた方々の供養の祈りのように感じられました。天神様のお茶が無事に神官に奉納されますと、



乗船なさっておられた方達全員が合掌、厳肅な儀式を無事終えました事に安堵いたしました。青年部の点ててくださった一服とお菓子、本当に美味しく頂戴しました。青年部の皆様、大役ご苦労さまでした。



天神祭献茶船

大阪東支部青年部連絡会担当

2012年度(平成24年)茶道教養講座予定表

回	月日	演題	講師
439	2/22 (水)	京の食文化と懐石 -私のこだわり-	瓢亭当主 高橋英一先生
440	3月	侘び茶の茶道具(千家名物) -利休・少庵・宗旦-	裏千家学園講師 谷端昭夫先生
441	4月	茶室について	京都工芸繊維大学名誉教授 中村昌生先生
442	5月	福寿園特別展覧	
443	6月	未定	今日庵 業 躰 先生
444	7月	茶道具の銘を楽しむII	茶道家 目片宗弘先生
445	9月	お菓子の逸話	末富店主 山口富藏先生
446	10/16 (火)	和歌に見る年中行事III	財団法人 冷泉家時雨亭文庫常務理事 冷泉 貴実子先生
447	11月	茶人の逸話	今日庵文庫長 筒井紘一先生

(注) 第442回 特別展覧は別途料金が必要となります。



当日は、暑い中沢山の方のご聴講を賜り、盛会となりました。講師として、茶道家・目片宗弘先生をお迎えし「茶道具の銘を楽しむ」という演題の下でご講義いただきました。スライドで実際の茶道具を示しながら、銘について、またしつらえや取り合わせについてもご説明くださいました。話の要所で能の謡

茶道具の銘を 楽しむ

目片宗弘先生
七月十一日

曲を朗々とお誦いいただき、より一層印象的に、かつ銘の奥深さを味わうことができました。今後は銘の背景に、今まで以上に関心をもってみたいと思います。



お茶十菱

茶道具

<http://www.rakuten.co.jp/jubishi/>

お茶会のことなんでも御相談下さい
大阪市北区西天満2丁目10の1

TEL 06-6363-2119
FAX 06-6365-9808

茶舗 吉川天宸洞

手島1002
大阪市東区南船場1-1-103
TEL 06-6762-1423

鵬雲齋宗匠御好
濃茶 吉祥の昔
薄茶 松吟の白



題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所

淡交会 大阪東支部
船場青年部

神戸市東灘区住吉宮町 6-2-303
馬場 圭子 方

2011年度のテーマ

引き継ごう！船場の伝統を 伝えていこう！ お茶ができる幸せを。

皆様もご存知だと思いますが、この歴史ある船場青年部も、来年一年間でその歴史を終えることになりました。今後は東支部青年部として新しい組織へと移行していきます。この大切な節目に、私たちは多くの先輩から引き継がれてきた船場の伝統というものを今一度見つめ直し、新しい青年部に引き継いでいかなければいけません。私たちが最



ご挨拶
部長 神藤 佳浩

平成二十三年度は、初めて一年間部長を務めさせていただきました。その際、親先生はじめ諸先輩方より、多大なるご支援ご協力を頂戴し無事務めることができました。深く御礼申し上げます。

も大切にしなければならぬことは、お茶を愉しむ気持ちです。自分たちが愉しむからこそ、お客様にも喜んでいただけるのです。それがホスピタリティの基本だと思います。そして、他者を思いやり理解する「敬」の心です。皆が仲良く、頑張る人を応援し、アットホームな船場の雰囲気を作ってきたのは、メンバーの皆さんそれぞれに敬の心があつたからです。それは私たちの誇りです。

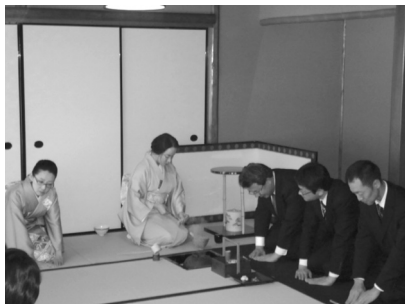


次に、平成二十三年は、東日本大震災という未曾有の大災害がありました。その中で普通の日常を奪われた人たちがたくさんいらっしゃいます。私たちは、普通にお茶ができる我が身の幸せを自覚し、一人でも多くの人にその幸せを拡げていく責任があります。お茶ができる幸せを一人でも多くのの人に伝えていきましょう。

微力ではございますがメンバー全員と一緒に頑張って参りますので、今後とも青年部活動へのご指導ご鞭撻をいただけますよう、お願い申し上げます。

新春茶会

一月二十七日 生國魂神社



新春茶会が、御堂・船場合同で生國魂神社にて開催されました。

当日は天候が心配されましたがお席が始まった途端に雨もあがり、お客さまの足元も心配することなく無事に終了できました。親先生方や青年部の先輩方より「青年部らしい良い席でした」「お仕事も大変ですが青年部活動も頑張ってください」等の激励のお言葉をいただきました。親先生方には「青年部らしい新春茶会が開催できるように」と、色々ご指導ご支援を賜り、そして大切なお道具も使わせていただきました。心より感謝しております。今後とも引き続きご指導のほどお願いいたします。

新年例会

一月二十九日 オープンオープンイタリアン

今年の初の行事であり新入会員も含めて大人数の例会でした。総務委員の行き届いた準備に進行、神藤部長を始め、たくさんの方々との協力がありました。何より新入会員の皆様には、新鮮な風と活気を持ち込んでいただき楽しい新年例会となりました。

新役員でスタートした初

住吉大社献茶式 副席担当

五月十九日 住吉大社

めてのイベントは、今年の船場青年部の活動を暗示するかのような、盛り上がった例会となりました！



終始無事に進められたのは、ひとえにお客様、先生方、青年部の仲間の協力があつたからだと思います。ありがとうございます。ありがとうございました。

夏季研修

七月二日 一保堂茶舗

夏季研修にて、お茶講座とお茶杓削りの体験をしました。

お茶講座では、畑のお茶が抹茶になっていくまでの工程や、抹茶の味わい方、保存方法を学びました。また、実際に抹茶を点て、夏仕立ての気軽に出きる一保堂さんオリジナルのお抹茶の頂き方を教えて頂き、茶杓体験では奈良高山の講師の先生から、手解きや、手直しを受けながら会員は思いを込めて削っていき「この世にひとつ」のマイお茶杓を作りました。

日常生活で気軽に楽しむ



抹茶や、茶道具であるお茶杓の見方、製作工程が勉強でき収穫のある夏季研修となりました。

天神祭献茶船

七月二十五日

日本三大祭のひとつ「天神祭」の献茶船を、大阪東支部青年部連絡会がご奉仕させていただきました。



天候が心配されましたがお祭り本番の船渡御時には、少し風が涼しく感じるほどのお祭り日和となりました。

献茶船が御鳳輦奉安船に近づき、点てたお茶や菓子が宮司に手渡される瞬間は時間が止まったように緊張が走りしました。

その後は川岸で上がる天神祭奉納花火を満喫し、行き交う船も「大阪締め」の掛け声とともに、賑わいを増していました。

「GO!郷!茶会」

八月二十八日 大阪美術倶楽部



今回の茶会は「GO!郷!茶会」と称して、「懐かしい故郷に想いを馳せ、人との交流を楽しんだあの故郷にでかけませんか」のテーマで多くのお客様に喜んでいただきました。

濃茶席は、両青年部の男性会員が増えたこともあり、男性だけの厳粛なお席となりました。薄茶席は「会記席」「山川」「海」「祭」の趣向で、立礼盆略点前の席を四席しつらえました。

点心席はお座敷列車のイメージで座卓を使用し鈴虫の音色にておもてなしをいたしました。茶会の準備過程から試行錯誤をして仲間と一緒に考えることで各人が達成感を味わえました。



夏季例会

七月三十一日 「花外楼」大淀別邸



夏季例会は総務委員会が中心となり、食事会の他に呈茶や全体会議もあり盛り沢山でした。長時間でしたがあっという間に楽しい時間は過ぎて行きました。

ふれあい茶会

十月二十一日 豊松庵

ふれあい茶会は青年部員同士で役割分担して、濃茶、薄茶、点心のおもてなし側および側を体験しました。限られた時間の中でも、グループに分かれて調整すること、小間での濃茶、立礼の薄茶、広間の点心の各席を十分に堪能することができました。

半東や水屋と初めて体験する機会も得、それぞれが交流をもてたお茶会でした。



ご卒業おめでとうございます

- 一 泰さん
- 島 隆さん
- 坂本 和子さん
- 辻子 緑さん
- 河合 緑さん



ありがとうございました!



OBATA LAW OFFICE 小幡一樹法律事務所

弁護士 小幡 一樹

事務所 〒530-0047
大阪市北区西天満3丁目1番5号 英和ビル202号
TEL.06-6361-0822 FAX.06-6361-0422
E-mail:kazuki-obata@s9.dion.ne.jp

窓・ドア・防犯・防音・建築のことなら!

阪南産業株式会社
http://www.han-nan.co.jp

代表取締役社長 神藤 佳浩
Yoshihiro Shinto

本社 〒596-0801 大阪府岸和田市箕土路町 2-12-40
TEL 072-441-8666 (代表) FAX 072-441-8667

2012年度 御堂青年部テーマ

花開蝶自来

(花開けば蝶自ずからきたる)

— 御堂で蝶が羽ばたくと、世界で嵐が起こる —

今年度は「花開蝶自来」—— 咲かそう御堂の花 —— をテーマに掲げ、活動を行って参りました。例年に比べ行事が多く、メンバーにとって本当に大変な一年でありましたが、どの事業に対しても真剣に取り組んで頂けたと思います。それを通して色々な経験を重ね、その結果、色々な味のある花を御堂の園に咲かせる事が出来ました。又、その園に色々な新しい蝶(新人)が集まってくれました。これもひとえに親先生方、諸先輩方のご支援の賜と深く感謝申し上げます。

「北京で蝶が羽ばたくとニューヨークで嵐が起こる」というバタフライ効果と言われる理論があります。来年度は「御堂で蝶が羽ばたくと、世界で嵐が起こる」と青年部の新体制を見据えて、より能動的なサブテーマに変更させて頂きました。今、御堂には五十名の蝶がいます。一人ひとりの力は微力ですが、その力を結集すれば世の中に対しても嵐を起こせる。その様な気概を持ち続け青年部活動に邁進してまいる所存でございます。次年度も引き続き、親先生はじめ諸先輩のご指導ご鞭撻を、切にお願い申し上げます。



ご挨拶
部長 山本和良

題字は鵬雲斎大宗匠筆
発行所
淡交会 大阪東支部
御堂青年部
姫路市八代宮前町 9-14
宅間 千加代 方



新春茶会では点心席水屋のお手伝いで参加させて頂きました。お客様の状況を確認しながら盛り付けしたり洗い物をしたり、それぞれ手際よく準備をしなければなりません。久しぶりでお役に立てるのかとても不安でしたが、段取り良く事が運び、無事終える事が出来ました。

新春茶会
二月二十七日(日)
生國魂神社内玉秀庵

坂本 佳織
色々な出会いもあり、経験もさせて頂きました。やはり青年部活動は素晴らしいなあと再確認した一日となりました。



交野支援学校訪問
一月三十日(日)
交野支援学校

茶会の準備を進めている中で、東日本大震災が発生し、諸先輩方にご相談させて頂き、この茶会にチャリティー性を持たせようという事になりました。皆様のあたたかいご厚意により御堂のOBと現役会員を合わせて、十八万円の義援金を集めることができました。

OB会発足記念茶会
四月二十四日(日)
生國魂神社内玉秀庵



毎年船場青年部と交互で担当していた萬部法要のお練りと参拝者へのお呈茶。会場のお茶室大俊亭も間もなく取り壊されるとあって思い出に残る行事でした。

萬部法要
五月五日(木・祝)
平野大念佛寺

稲山 敦子
義援金は、東北地方太平洋沖地震で被災された同門の方への支援の一環として、オール御堂青年部という形で、(社)茶道裏千家淡交会災害救援基金口へ、寄付させて頂きました。ありがとうございました。



本年は住吉大社ご鎮座千八百年記念大祭の年にあたり、鵬雲斎大宗匠様による献茶式が執り行われました。大宗匠様にもご臨席を賜り、また水屋にまで温かいお言葉をお頂戴し、記念撮影をして頂きました。



今年の夏茶会は「GO/郷ノ茶会」と名付けられ、日本大震災の復興再建の願いが込められております。薄茶席では、日本の優れた伝統や美しい自然、東北の



今年ご卒業される松本副部長の初半東でした



GO/郷ノ茶会
八月二十八日(日)
大阪美術倶楽部



大阪東支部青年部連絡会で担当させて頂きました

九月に出身地の香港に帰る私にとっては青年部での思い出深い最後の茶会となりました。この二年間皆様には大変お世話になりました。また、茶道を通じて世界のどこかでお会いしましょう。

暑い夏祭りそれぞれテーマに分かれたお点前座を四つ設けました。お客様が興味津々にご覧になり、笑顔で点心席に進まれるのを見て、薄茶席スタッフ一同、嬉しく思いました。

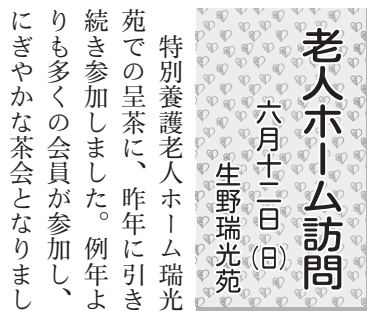


今西香奈子

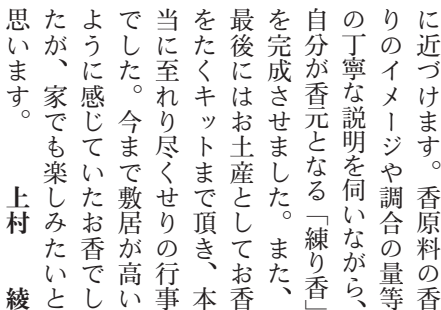


特別養護老人ホーム瑞光苑での呈茶に、昨年に引き続き参加しました。例年よりも多くの会員が参加し、にぎやかな茶会となりました。「紫陽花茶会」と名付けられたように、持ち寄りの紫陽花でフロアーを飾り、担当の社会事業委員会手作りの、折り紙の蝸牛をあしらった懐紙でのおもてなしも入所者にご好評で頂きました。千歳盆のお点前は、私自身とても緊張しましたが、とても勉強になりました。

熱い夏祭りそれぞれテーマに分かれたお点前座を四つ設けました。お客様が興味津々にご覧になり、笑顔で点心席に進まれるのを見て、薄茶席スタッフ一同、嬉しく思いました。



老人ホーム訪問
六月十二日(日)
生野瑞光苑



上村 綾

講師に薫物屋香樂の香司片山齊先生をお招きしての練り香作りの行事をしました。最初の三十分の講義では、お香の歴史をわかりやすく、面白く説明して頂きました。茶道の歴史と重なる部分もあり、とても勉強になりました。残り二時間は、残り二時間は「練り香作り」にチャレンジです。まず自分の作りたい香りをイメージする「練り香」の銘を考案します。数種類の天然香原料を調査しながらその香銘に近づけます。香原料の香りのイメージや調合の量等の丁寧な説明を伺いながら、自分が香元となる「練り香」を完成させました。また、最後にはお土産としてお香をたくキットまで頂き、本当に至れり尽くせりの行事でした。今まで敷居が高いように感じていたお香でしたが、家でも楽しみたいと思います。

講師に薫物屋香樂の香司片山齊先生をお招きしての練り香作りの行事をしました。最初の三十分の講義では、お香の歴史をわかりやすく、面白く説明して頂きました。茶道の歴史と重なる部分もあり、とても勉強になりました。残り二時間は、残り二時間は「練り香作り」にチャレンジです。まず自分の作りたい香りをイメージする「練り香」の銘を考案します。数種類の天然香原料を調査しながらその香銘に近づけます。香原料の香りのイメージや調合の量等の丁寧な説明を伺いながら、自分が香元となる「練り香」を完成させました。また、最後にはお土産としてお香をたくキットまで頂き、本当に至れり尽くせりの行事でした。今まで敷居が高いように感じていたお香でしたが、家でも楽しみたいと思います。



練り香作り
九月十一日(日)
西成区民センター



河島 国男

大阪四支部青年部持ち回りによる天神祭御奉輦船のお献茶ですが、今年は東支部青年部連絡会が担当でした。天神祭参加のどの船も東日本大震災の復興祈願の「頑張ろう！日本」の御旗のもと、お亡くなりになられた人や被災地の想いも込めながら天神様に献じさせていただきますました。



天神祭献茶船
七月二十五日(月)
大川



進化しつづける
コミュニケーション

MATSUMOTO PRINTING CO.,LTD.

松本印刷株式会社
本社:〒540-0005 大阪市中央区上町1-15-36
TEL(06)6762-9151 FAX(06)6762-7292
http://www.matsumoto-printing.co.jp

荘厳な式典から
心のアフターサービスまで

株式会社 阿波弥
代表取締役 藤田 昭夫

創業265年の長い歴史のなかで培ってきた信頼と実績で、業界に先駆けて新たな提案をご提供し、顧客にご満足いただけるよう心をこめてお手伝いいたします。

お別れの会
他社と比べてみてください。
お見積り・ご相談(無料)随時受付中!

0120-06-1142 (年中無休 24時間)

株式会社 阿波弥
本社:大阪市西成区新町1丁目13番15号
http://www.awaya-ceremony.jp/

ショット・サンド・ビーズプラスト加工のご用命は
SHOWA BLAST 昭和プラスト工業株式会社

風雨にさらされ古くなった門扉やサッシを、
新品同様に再生させませんか?

詳しくはHPを <http://www.showablast.com>

〒547-0002 大阪市平野区加美東2-3-30
TEL 06-6792-5816
FAX 06-6794-9221

プラスト加工とは?
金属製品に粉体状の研磨材を投射し、表面の美装や塗装の下部処理(塗装の耐久向上)やピーニング(金属耐食向上)を目的に、航空分野から建築分野まで幅広く利用されています。
大阪東支部 御堂青年部 山本和良



題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所

淡交会 大阪西支部
しののめ青年部

大阪市阿倍野区北畠3-11-34
高橋 康高 方

各席、準備は大変でしたがお客様に楽しんでいただくことが出来ました。今後も青年部らし

しののめ・なみはや両青年部新部長の下、初めての行事となる新春茶会でした。濃茶席は、床に鵬雲斎大宗匠御染筆一行「和気生萬福」を掛け、寿棚で男性会員がおもてなし致しました。女性会員担当の薄茶席では、歌花筒に鵬雲斎大宗匠御染筆短冊「松樹千年緑」、お花は迎春草・節分草を生け、青年部手作りの三角棚を用い、立礼にて一服差し上げました。

点心席では、皆様に福が来るようにとお酒は「来福」、床には塩と卵白で作った雪景色に、南天と福寿草で「災い転じて福となす」を表現し、吸物椀は紅白の白玉の上に、会員が試行錯誤して作ったウズラ卵の兎を乗せ、目でも楽しんでいただきました。

新春茶会

一月六日
豊国神社



ウズラ卵の雪うさぎ ▶



い工夫で、おもてなしできるように努力していきたいと思えます。



東日本大震災に被災された皆様を思い、少しでも応援したいと会員皆で協力し、花見茶会を開催しました。残念ながら桜の開花にはまだ少し早かったのですが、待合では箏「さくら」を演奏し、春の風情を演出しました。

銘「叶う」とつけたお菓子に願いを込めて、立礼席にておもてなし致しました。小さなお子さん、ご高齢の方、外国の方等多くのお客様にご来席いただくことができました。

花見茶会

三月二十七日
豊国神社内秀石庭

Bros.
structure design

〒530-0036 大阪市北区与力町1-5 与力町パークビル702

MAKOTO CONSTRUCTION CO., LTD.
まこと建設株式会社

社名「まこと」
当社の社名でもあり社是でもある「まこと」とは、創業書である清水嘉吉が名付けたものです。
漢字で書けば「まこと」は、誠、真、假、実... etc. といろいろな文字があります。
それらの漢字それぞれの意味をあわせ持たせた、ひらがなの「まこと」こそが、当社の目録「まこと」です。

〒550-0014 西淀川2丁目17-8 TEL:06-6541-4331(代) FAX:06-6541-4330
URL: <http://www.makoto-kensetsu.co.jp> E-mail: info@makoto-kensetsu.co.jp

L,world

www.muse-osaka.com
muse-osaka@muse-osaka.com

水無瀬神宮献茶式

四月五日
水無瀬神宮

水無瀬神宮献茶式の副席を、しのめ・なみはや両青年部にて担当させていただきました。

満開の桜の下、坐忘齋お家元様と万紀子様にもご来席を賜り、歌花筒に鵬雲斎大宗匠御染筆短冊「山青水緑花紅春」、お花は黒百合とあけびを生け、立礼にておもてなしいたしました。

会員手作りの棚に興味をもたれて、私たち青年部へ親しく声をかけてくださいました。席中が華やき、とても印象深い楽しい思い出の一日になりました。

親子交流会

七月三日
有斐斎弘道館

今年の親子交流会は、京都御所の近くにある有斐斎弘道館にて開催致しました。

七月の京都ということから祇園祭や七夕の趣向にて飯後の茶事形式で親先生方を、ゆっくりとおもてなしようとして取り組みました。

当日は早朝より近くの梨の木神社・染井から水を汲みだし、濃茶は名水点・薄茶は涼を感じていただけるよう洗い茶巾の点前にしま



した。

千鳥の盃は、慣れないことや緊張もあり手間取りましたが、御客様から手順を教えていただいたりして会話もはずみ、みんなが笑顔になりました。

皆様に楽しんで頂けたか不安でしたが「ありがとう、



今までで一番楽しかったよ」と、親先生方や先輩方からお声をかけていただき、充実感と達成感でほっとしました。

大阪西支部合同茶会

西支部CHA・チャ・茶
十月十六日
相生楼

天満・相生楼において「結」をテーマに、しのめ・なみはや両青年部合同で先生方・登録会員・学校茶道大学生の皆様をお迎えして合同茶会を開催しました。

しのめ青年部担当の濃茶席は、床に鵬雲斎大宗匠御染筆「菊松萬年歡」を掛け、欠風炉に藁灰という趣向に取り組みました。

藁灰をどうやって作るのか？稲は、どうしようか？と皆で考え、稲を育てるところからやってみようというところから稲を育て始めました。夏の日を過ぎ稲穂が出てきたと喜んだり、少し元気がないみたいだと一喜一

6月バケツで稲を育て始めました▶

各会員宅ですくすく成長する稲▼



▶前日注意深く風炉に並べました

▼オープントスターで藁灰作り



憂しましたがなんとか九月に入り、稲を刈り藁灰を作ることができました。この藁灰作り・稲を育てる経験を通じて一日一日が、この茶会の日につながっていることを学ぶことが出来ました。



eK EISEI-KOSYA

ビル・マンションの清掃
ネズミ・衛生害虫・ハトの駆除
貯水槽の清掃

株式会社日本衛生公社
540-0004 大阪市中央区玉造2-3-17アルマビル4F
TEL 06-6945-5866 FAX 06-6945-5867
http://www.eisei-kousya.jp

**おおかわ
法律事務所**

弁護士 大川 伸郎

坂井労務経営事務所

〒577-0055 東大阪市長栄寺6-11-206
TEL. 06-6783-2168
FAX. 06-6783-2180

～実り多き豊かな 明日のために～



題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所

淡交会 大阪西支部
なみはや青年部

神戸市東灘区住吉山手6-11-23
上林 宏充 方

ご挨拶

部長 上林 宏充



本年度、なみはや青年部は「和衷協同」のスローガンの下に活動してまいりました。三月十一日に起きた未曾有の災害に直面し、心を同じくして力を合わせ物事を成し遂げる気持ちが大変な事を感じさせられた年になったのではないかと思います。

二十四年度、なみはや青年部は二十周年の節目を迎えます。改めて青年部一丸となって活動を展開してまいりたいと思います。

最後になりましたが、親先生ならびにOBの皆様におかれましては、厚く御礼申し上げますと共に、今後引き続きご指導賜りますことお願い申し上げます。

新春茶会

二月八日
豊国神社

【濃茶席】

荒木 敏之

新春茶会では濃茶席の担当で、今回始めてお点前を、経験させて頂きました。

多くの親先生やお客様を前にして非常に緊張しましたが、皆様の暖かいまなざしと和やかな雰囲気の中で精一杯のおもてなしをさせて頂きました。

皆様にはご迷惑をおかけしますが、失敗を重ねながら精進していきたいと思っております。



【薄茶席】

東野 梢

新春茶会の薄茶席を担当させて頂きました。

しのめ青年部で制作された三角棚、貴重なお道具、万葉集の歌を散りばめた衝立、青年部の温かい思いが詰まった空間で、初めてお点前をさせて頂き、先生や

OBの方々のお席でとても緊張しましたが、私にとって沢山の発見をする事ができ、貴重な経験になりました。

お茶会に足を運んで下さったお客様、ご指導して頂いた青年部の皆様に心から感謝致します。



【点心席】

福田 徳恵

お床飾りは勅題の「葉」から南天と福寿草を飾り、塩と卵白を混ぜ合わせ残雪に見立てました。また、お客様に喜んで頂ける様にとの思いで兎の椀物を作らせて頂きました。

試作では蓋を開けると兎が転がってしまい不安を抱えながら当日を迎えました。が、お客様から「かわいい」「食べるのが勿体ない」と言うお言葉を頂いた時は嬉しさと安堵の気持ちで胸がいっぱいになりました。皆様ありがとうございました。

水無瀬神宮献茶式

四月四日
水無瀬神宮

小杉 仁志

青年部は副席を担当しました。献茶式への参加は、今回が二回目です。屋外での席の設営など、普段とは違い、色々ともまどうことも多く、皆様にご迷惑をおかけしてしまいました。

私は、半東をさせて頂いたできましたが、お道具の説明や正客との会話がなかなかうまくいかず、また席全体の流れをつかみ、いかにスムーズに進めることが大変か痛感いたしました。

次に半東をさせて頂いたときには、今回の反省を生かし、もっとうまくできるようなりたいと思います。



茶道具

やまこう

吹田市豊津町1-30
江坂ビル5F(1Fりそな銀行)
TEL 06-6386-6706
地下鉄御堂筋線 江坂駅5番出口向い
<http://www.yamakou.jp/>



FUTURE INFINITY CORPORATION

株式会社 フューチャーインフィニティ

大阪本社 〒532-0012 大阪市淀川区木川東4丁目16-20
TEL: 06-6390-4501 FAX: 06-6390-4500

東京支社 〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目12-16(住友芝大門ビル2号館)
TEL: 03-3578-6901 FAX: 03-3578-6905

わ ちゅう きょう どう 和 衷 協 同

合同茶会
西支部CHA・チャ・茶
十月十八日
相生楼

【受付】 久保田 敦子
前日までの雨で、当日のお天気が心配だったのですが、お天気にも恵まれ心地の良い秋晴れとなりました。一度にたくさんのお客様が来られたのもあって、待合で長い間お待たせしてしまいました。



私は来賓待合の担当でしたのでお客様に少しでも苦痛なく待つて頂けるように、お声掛けなど心がけました。一般待合のお客様には窮屈な思いをおかけし申し訳なかったのですがお帰りの際に、すごく良かったと笑顔で帰って行かれています姿をお見送りすることができて本当に嬉しく思いました。



【点心】 高橋 明子

お席の飾り付けは結びを表現するよう、色とりどりの帯締めを用いた吉祥結び、梅結びを配しました。金、銀の布、帯飾りなども持ち寄り、華やかさも沿えることで、大震災からの復興の祈りも込めました。一方、お料理は相生楼にてご準備くださいました。春慶塗の八寸に様々な秋の食材が彩りよく、ご飯は毎回炊きたて、お吸い物にも心配りをいただきました。おもてなしの心を改めて教えていただいたきました。準備の段階から皆様のアイデアや協力をいただいたことは心強く、この経験をまた次の機会に生かせるよう心がけたいと思います。



親子交流会
九月二十三日
堂本印象美術館・老松

小倉 香
清々しい秋晴れのもと、日頃お世話になっている親先生・OBの皆様との交流を深めるため京都へ出掛けました。

午前中は堂本印象美術館を見学、昼食はしょうざんリゾート京都へ、素敵な庭園もあり、木洩れ日がとても心地良かったです。



午後からは「老松」で待望の和菓子作り体験。和菓子作りは、見本にならって「こなし」をこねて色をつけ、それぞれ思い思いの手作り和菓子が3点出来上がりました。
茶室で美味しい和菓子とお抹茶もいただき、秋の一日を楽しく過ごさせていただきました。



国際交流会
十一月十三日
申庵

戴田 昌子

今年も留学生を対象とした国際交流茶会を開催しました。

茶会を通し「日本」の文化を体験していただきました。海外からの留学生の皆様からたくさんのお質問をいただき、関心の高さに驚きました。私たちにとてもにすばらしい文化交流ができ、有意義な時間を過ごすことができました。

総会
十二月十一日
芝苑

第十九回なみはや青年部総会・卒業茶会・懇親会を来賓の先生方をお迎えし開催いたします。

- 平成二十三年度 行事
- 一月三十日 例会・新入会員歓迎会 (チャイナテールブル)
 - 二月六日 新春茶会 (豊国神社)
 - 四月四日 水無瀬神宮献茶式 副席 (納涼例会)
 - 八月六日 大阪市中央卸売市場
 - 九月二十三日 親子交流会 (堂本印象美術館・老松)
 - 十月一・二日 ブロック研修会 (ハートンホテル南船場)
 - 十月十六日 合同茶会
 - 西支部CHA・チャ・茶 (相生楼)
 - 十一月十三日 国際交流会 (堺 申庵)
 - 十二月十一日 総会・卒業茶会 (芝苑)
- 平成二十四年度 行事予定
- 一月 例会・新入歓迎会
 - 二月十九日 新春合同茶会 (西支部CHA・チャ・茶 豊国神社)
 - 四月一日 花見茶会 (豊国神社 秀石庭)
 - 七月 天神祭 献茶
 - 八月 手作りの会
 - 九月 しのめ・なみはや青年部 創立二十周年記念祝賀会 (十二月 総会・卒業茶会)

伝えよう 日本のこころを! 広めよう 人の輪を!



題字は鵬雲斎大宗匠筆
発行所
淡交会 大阪南支部
永和青年部
奈良県北葛城郡広陵町馬見北7-4-14-13
山本 義次 方

ご挨拶
部長
津和 邦明



部長を仰せつかり、早一年が経とうとしております。本年は、東日本大震災をはじめ、数々の天変地異が起りました。その中で、私たちは命の尊さや支えあうこころの大切さを改めて考えさせられることとなったのではないのでしょうか。青年部活動を通じて、もう一度日本のこころを見つめ直しましょう！

さらに感謝の気持ちを持って行動できるように皆で精進して参りますので、親先生をはじめ、諸先輩方のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

第一回全体会議と新年会

一月十六日(日) チャイナテーブル日本橋

新体制となって初めての行事「第一回全体会議と新年会」を、林幹事長先生、桂副幹事長先生にもご出席頂き、日本橋のチャイナテーブルにて行いました。

津和部長挨拶の後、山本総括幹事進行にて、役員・会員の紹介、今年度の予算案や行事予定について話し合いました。

会議の後は、林総務委員長進行の下、OBの皆様にもご出席頂き、新年会を行いました。おいしいお料理に舌鼓を打ちながら歓談やゲームをし、楽しいひと時を過ごすことができました。

永和・なにわ合同大寄せ茶会「春」

三月二十一日(月・祝) 旧西尾家住宅

重要文化財指定一周年を迎えた吹田市の旧仙洞御料庄屋旧西尾家住宅にて永和・なにわ合同大寄せ茶会を行いました。大正時代に建てられた洋館の離れを待合に、明治時代に建てられた主屋で濃茶席を、晴天の場合は庭にて野点をする予定でしたが、生憎の雨の為、計り部屋(献上米の計量等が行われた土間)にて薄茶席を行いました。永和青年部担当の濃茶席では、昨年の手作り会作陶で作成した灰被り茶碗を使い、主菓子には、吹田市の名物「吹田慈姑」を使った薯蕷饅頭



大きな

一碗運動



今年度も昨年に引き続き「大きな一碗運動」をさせて頂きました。

写真は本山時での呈茶の様子。清らかな自然の中で皆様に一碗を楽しんで頂く事ができました。

この他、吹田市メイシアターにおいてや、全体会議、会員交流行事において、また、会員個人の実施で友人や家族とのひとときにも心をこめて呈茶をし、年間の一碗運動とさせて頂いていただきました。

大きな一碗運動は、お互いに人々によって生かされている茶道の良さが再認識できますので、これからも豊かな心で人々に交わり、地域社会発展の為に努めます。

平成二十三年度行事

第一回全体会議と新年会

一月十六日(日)
チャイナテーブル
日本橋

永和・なにわ合同大寄せ茶会「春」

三月二十一日(月・祝)
旧西尾家住宅

会員交流行事

「蒔絵体験」
七月十七日(日)
表完堂

第二回全体会議と研修会

九月十一日(日)
緑友庵

成田山大阪別院

献茶式 青年部席
十月十六日(日)
成田山大阪別院

七五三茶会

十一月六日(日)
生國魂神社

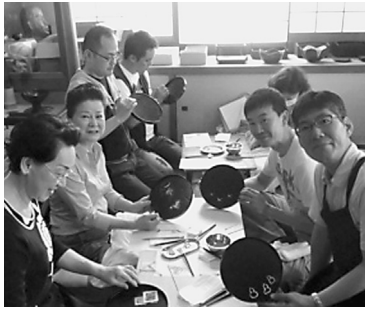
総会

十二月十一日(日)
ホテルアウイーナ大阪

会員交流行事 「蒔絵体験」

七月十七日（日）表完堂

祇園祭で賑わう盛夏の京都・東山の「表完堂」にて、林幹事長先生、瀧田副幹事長先生、なにわ青年部の方々にもご参加いただき、蒔絵体験をしました。それぞれが七寸の丸盆に筆を使って下絵を描き、表完先生に金粉・銀粉を蒔いて頂き、表面を削る等して仕上げました。作業机を囲んで会話



「おもてなしの心を学ぶ」と題して、林幹事長先生のご協力で模擬茶会を行いました。くじで二班の亭主・半東・水屋に分かれ、風炉の灰型や干菓子づくりなどの準備の後、一班が茶会をする様子を、もう一方の班が



見学する形で行いました。別室から茶会の様子を見学することは初めてだったので、とても新鮮で大変勉強になりました。その後、第二回全体会議を行い、今期前半の行事報告と今後の行事予定について説明を行いました。



今回の席は、お床には、鵬雲斎大宗匠筆 紅葉舞秋風のお軸を掛けさせて頂きました。また、お茶杓には、青年部のこれからの着実な成長と、東日本大震災からの復興への願いを込めて、鵬雲斎大宗匠作 銘一歩二歩を使わせて頂き、盆略点前にておもてなしをさせて頂きました。

青年部に入らせて頂いて八年目になるかと思えます。様々な事情でなかなか思うように参加できなかったこともあり、最後まで新人のような頼りなさでした。それでもいろいろなことをさせて頂きました。青年部ならではの趣向のお茶会には驚くことも感心させられることも多々ありました。貴重な経験と楽しい時間をありがとうございました。

澤井由香里

佐竹貴代美

第二回全体会議と研修会

九月十一日（日）緑友庵

成田山大阪別院において開創七十七周年を記念した献茶式が行われ、永和・なにわ青年部合同で青年部席を担当させて頂きました。この日は、前日の激しい雨が上がり、境内の色づき始めた木の葉が美しく輝き、爽やかな秋晴れの献茶式と

なりました。今回の席は、お床には、鵬雲斎大宗匠筆 紅葉舞秋風のお軸を掛けさせて頂きました。また、お茶杓には、青年部のこれからの着実な成長と、東日本大震災からの復興への願いを込めて、鵬雲斎大宗匠作 銘一歩二歩を使わせて頂き、盆略点前にておもてなしをさせて頂きました。

十七年間青年部にお世話になり、まさか役員をさせて頂くことになるとは夢にも思っておりませんでした。副委員長・委員長に続き総括幹事を三期させて頂きました。その間、先生方・諸先輩方にご伝授いただきました。さまざまな知識は、私の宝物となりました。

来期より、永和なにわが合併し新たな組織として始動する青年部の活躍を楽しみにしております。

祝ご卒業



西日鋼運輸株式会社

1945年創業
鋼材・重量物の専門輸送

本社：大阪市住之江区平林北2-2-16
電話：06-4702-1600
<http://www.nishinikko.co.jp>



TSUN² INC.

空調設備工事 ・ 衛生設備工事

株式会社 **TSUN²**
ツン ツン

〒599-8248 堺市中区深井畑山町 150-19
TEL (072) 281-7720 FAX (072) 281-7731



題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所

淡交会 大阪南支部
なにわ青年部

西宮市上甲東園 5-6-7
吉田 裕子 方

ひとりが 主人公

三月二十一日、永和・なにわ青年部合同大寄せ茶会「春」を旧西尾邸で開催しました。未曾有の大惨事となりました。三月十一日の東北大震災から十日後で自粛ムードもある中でしたが、受付で義援金の募金箱を設置させて頂き、予定通りの開催となりました。



ご挨拶
部長
島田真輔

今年度、なにわ青年部は、「ひとりひとりが主人公」をテーマに、青年部の皆さん一人ひとりが主人公であるという意識を持って、主体的に能動的に青年部活動に取り組んできました。

当日は、前日からの雨が降り続き、野点席から土間での薄茶席に変更になったり、会場が吹田市の重要文化財である旧西尾家のため設営面で苦勞し、十分なおもてなしが出来ない点もありましたが、青年部の一人ひとりのお越しいただいた方々に喜んで頂きたいという想いは十分に伝わった事業であったと思います。

また、七月二十四日には会員交流事業として貸切バスで丹波に向かい、丹波立杭焼の作陶と呈茶を行い、その後兵庫県立陶芸美術館へも足を運びました。今回の会員交流事業ではお多用の中、多くの親支部先生方が参加して頂きました。バスの中、作陶、美術館と多くの時間を親先生と青年部が一緒に過ごすことになり、とても貴重な機会となりました。

今後先先生方、先輩方のご指導を頂きながら青年部が主体的に能動的に「なにわのわ」を大事にしながら青年部活動に取り組んでいくように精一杯努力していきたいと思えます。

引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

合同大寄せ茶会 「春」

三月二十一日
於旧西尾邸

南支部両青年部で着々と準備を整えていた時、東日本で未曾有の震災が起こりました。多くの人が犠牲になり、あらゆる催しが自粛ムードで中止になる中、少しでも明るい話題と、被災者の為の義援金を募る為に開催された合同茶会。

場所は大阪府吹田市にある、旧西尾邸という四百年もの歴史を持つ文化財で、その総敷地は千四百坪、主屋の延床面積だけでも二百坪近くもある大変広大で由緒のある建物です。

我がなにわ青年部は薄茶担当で、初めはその敷地内にあるお庭で野点風にて催す予定でしたが、前日や当日の天気予報で屋内にすることにし、「計り部屋」と呼ばれる煉瓦を敷き詰めた部屋ですることとなりました。この部屋は当時伊勢神宮や天皇等に献上する為の米等をこの部屋で計っていた様でその名前がつけられた様です。今はこの旧西尾邸の歴史や、当時の写真等を展示し、旧西尾邸の案内部屋



HARMONY & SINCERITY
SINCE 1902
中谷運輸株式会社
nakatani

大阪市港区海岸通1-5-22 〒552-0022
Tel.06-6572-5021(代) Fax.06-6574-1023
http://www.nakatani-grp.com

ハトメ・ボタン・リベット等のファスニング資材の製造
カネエム工業株式会社
KANE-M
代表取締役専務 島田真輔

〒581-0813
大阪府八尾市泉町1丁目93番地
Tel 072-999-1231 Fax 072-998-7744
E-mail kane-m@alpha.ocn.ne.jp
URL http://www.kanem.com

SKKKQA
ISO 9001
ISO 14001

JAB
QMS, EMS
Accreditations
R006, RE018

丹波立杭 作陶事業

七月二十四日

蝉の鳴き声が徐々に広がり始め、暑さも本格的になりつつある中、初めての作陶に参加させていただきました。場所は丹波焼、杉原祥公先生のお窯元でした。バスを貸切り、中国道を経て大阪より一時間程で着きました。緑が多く、空気の良い場所、眼下に広大な水田を望める小高い山の上に位置する杉原先生の工房はそれだけで訪問するに値する程眺めが素晴らしく、杉原先生が作り出す作品の繊細さはいった感性に訴えかける立地条が生み出しているのかと思えます。



親支部の先生方も交え、総勢三十人程での参加でしたので、作陶は一箇所には入りきれず分かれて作業しました。ご指導頂いた杉原先生にも、ご家族総出でお世話して頂きました。杉原先生はとても気さくな方でお話も面白く、笑いを誘う言葉を交えながら作陶の説明をして頂き、初作陶の私も緊張が和らぎその後の作業も集中できました。

心配されていた暑さも、山の上なのでしようか用意して頂いた扇風機の風がすごく心地よく作陶に集中できるほどでした。皆さんは何度か経験されているようで、サクサクとご自分の頭の中で思い描いていた完成図を元に土をひねり、形作りと随分スムーズに作られている中、初体験である私は一応何を作るか決めていたものの完成予想図とは程遠い物でしたので、ほとんど作りながら考えている状態でした。土の心地よい冷たさときめ細かい肌触りを楽しめば、そちらに思考が向かっていき更に完成図から離れていく中、親支部の先生方も混じって作陶をしています、距離も近く感じ、自然と和やかな雰囲気でお話も弾みます。

親先生方の青年部時代の作陶の思い出話等を楽しく聞きながら土を糸状に伸ばし積み上げていく作業に没頭していますと、当初考えていた物から随分と離れた形になっていきます。どう修正していこうかと悩んでいましたら、もうお昼になっていました。昼食時間と呈茶を挿み和やかな雰囲気のまま作陶の続きに入ります。インターバルのお陰で方向性が決まった私も後はスムーズに完成まで持っていくことが出来ました。

茶陶を始め、様々な作品を作るのに膨大な時間と先人達の知恵、洗練された技と技術の深さに改めて気付かされるひと時でした。事業計画、実行して頂いた皆さんに感謝します。有難うございました。



成田山 献茶式

十月十七日



すっかり秋の気候になり朝夕の涼しさに襟元を押さえてしまおう十月十七日に、大阪の寝屋川にある成田山不動尊(成田山大阪別院明王院)で献茶式がありました。我々南支部青年部は二席ある副席の一つを担当し、盆略手前でご奉仕させて頂きました。

準備の日やその前日に、激しい雨が続き不安な日を過ごしましたが、当日は嘘のように快晴で見事な秋晴れを見せてくれました。小高い山の上に位置する成田山は風の通り道でもあり汗ばむ程の快晴でも気持ちよくなご奉仕できたと思います。

盆略手前をさせて頂いた青年部席では七月二十四日に事業で丹波焼・杉原祥公先生の窯元に訪ねた折、親支部、青年部の参加者一人一人が一本づつつけた猫掻きの紅鉢を使わせて頂き賜雲斎大宗匠に大変喜んで頂きました。総勢七百人を超えるお客様をお迎えし、へとへとになりながらも充実感に満たされながら無事終える事が出来ました。皆様お疲れ様でした。

献茶式には、鵬雲斎大宗匠がなさり、大勢のお客様が見る中慎ましく進行し、お席の方も裏千家業躰先生の今日庵席を始め、親先生方の第一副席、なにわ・永和両青年部の第二副席と三席がそれぞれの趣向でされており、お客様も皆さん笑顔でお席から出てきておりました。



なにわ随一 和田八
かまぼこの

〒553-0003 大阪市福島区福島5丁目4番21号
TEL.06-6346-7701 FAX.06-6346-7702
フリーダイヤル 0120-888012 [受付時間 A.M.9:00~P.M.5:00]
ホームページアドレス <http://www.wadahachi.co.jp>

KOALA SOAP
オーガニックの国「オーストラリア」から
こだわりの自然派石鹸やバスグッズをお届け！

コアラソープ 検索

<http://www.rakuten.co.jp/organicaustralia/>



題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所

淡交会 大阪北支部

天神青年部

大阪府吹田市穂波町 6-5
石井 智子 方

ご挨拶

部長 松山大祐



今期から部長をおおせつかりました松山大祐でございます。

今期のテーマは、

『Chance』をはじめよう、新しい自分を見つづけるために。』

とさせていただきます。出来るだけ多くの会員に機会を提供し、青年部活動の楽しさを体験してもらい、青年部活動は好機(Chance)だと気付いてもらおうと考えています。

そして、青年部は

茶道の研鑽に努め自己「修練」し地域社会へ「奉仕」する。

共に「修練」「奉仕」することにより会員間の「友情」を培う。

という「修練」「奉仕」「友



情」を実践する場所であるということをお伝え、会員個々の自己啓発につなげてもらえるようにしたいと考えています。

「友情」を大切に、山前部長をはじめとする諸先輩が築かれた天神青年部の明るい雰囲気を持続できるようにスタッフ・会員と共に頑張ります。

平素より青年部活動にご支援ご協力いただいております。まず総本部、親支部・親先生、諸先輩のみなさまに深く御礼申し上げますと共に、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

会員親睦会

京都にて

六月五日(日)

河野 昌代

京都にて『粟田焼きの絵付け』体験に参加しました。

窯元の先生の作品を少し参考にして絵柄を決めようと思いましたが、なかなか下地が決まらず：何とか決め

たまでは良かったのですが、筆での色付けに四苦八苦しました。意外に線を書く事

が難しかったです。そして自分のセンスのなさを改めて実感させられました。その後、野村美術館で学芸員の方から貴重なお話を聞いてから館内を見学しました。青年部の方々と楽しく学びながら過ごさせて頂き感謝しております。ありがとうございました。



加納知代子

京都東山にある粟田焼窯元・安田工房にて、お茶碗の絵付け体験と、野村美術館にて【唐物】展を見学致しました。

今回、体験した絵付けは、鉛筆でお茶碗に図柄を描き、その上から色(呉須↓藍色、鉄↓赤茶色)を付けていくというものでした。図柄は予め用意して頂いていたモチーフをスタンプして、それを小筆でなぞって色をつけていきました。

私は図柄を、「雪花紋」という、雪の結晶の形を選びました。雪の結晶だけでなく、花のようでもあるので、使いやすいのではないかと考えたからです。

図柄をなぞっていくだけとはいえず、慣れない小筆で、細かい柄に苦戦し、上手く下書き通りに描く事は出来なかったのは残念でしたが、自分で絵柄を付けたという事で、とても愛着のあるお茶碗になりました。

絵付け体験の後は、野村美術館にて【唐物】展を観覧しました。

初めてお茶道具に関する展覧会を見ましたので、すべての物が興味深く、勉強になりました。

今回の様な絵付け体験は、青年部に参加しているからこそ出来たのだと思いますし、天神青年部の皆様と一緒にさせて頂いた事で、和やかで、楽しいひと時を過ごす事が出来ました。ありがとうございました。

夏休み子ども茶室

クレオ大阪中央

七月三十一日(日)

八月七日(日)

藤本 洋子

七月三十一日、八月七日の二日間にわたり、クレオ大阪中央にて夏休み子ども茶室教室に参加させていただきました。私自身にとって初めての青年部での活動ということもあり、緊張しつつ初日を迎えました。

初日はマナー教室として和室での基本所作、お菓子やお茶の入ったお茶碗の扱い方など、次は部員による風炉点前の見学、そして茶碗の絵付け、二日目は菓子切り入れ製作、初日に続いたのマナー教室、最後は子ども模擬茶会と、盛りだくさんの内容でした。

私が印象的に感じたのは、



畳の歩き方、おじぎのしかた等、なぜこのような所作をするのか、子供達が納得しながら練習していた事です。また、茶碗の絵付けでは想像力あふれる素敵なデザインが多く、焼き上がり

がとても楽しみになりました。模擬茶会ではマナー教室の練習をふまえ、お客様・水屋係・お運びと三班に分かれ、一通り体験をしました。

二日間を通して、子供たちの真剣なまなざしに非常に感動を覚えました。私自身もこれからの青年部の活動を通じて勉強し、精進していきたいと思えます。

世界初をカタチに。

あらゆる設計から製造まで世界初の提案



株式会社サンパック

〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-17-14 江坂吉川ビル4F
TEL: (06) 6369 - 5681 FAX: (06) 6369 - 5688
http://www.sunpac.co.jp/

合同茶会

玉秀庵
四月十七日(日)

西尾 静香

今回の合同茶会では、私は玉秀庵内での案内を担当させて頂きました。いらして下さったたくさんの方を案内するのはとても目まぐるしく大変でしたが、そのぶん良い経験をさせて頂いたのだと感じています。

案内のお仕事のなかで特に私がやり甲斐を感じた点は、各お席の橋渡しという役目につきことよって、よりたくさんの方と関わられた点です。北支部合同茶会という事で、それまであまりお話をしたことなかったなりにわ津青年部の方たちとも協力して茶会をつくっていかねばなりませんでした。私は、案内役を務めたことによりその「二青年部が協力する」という部分をより間近に感じる事ができました。忙しいときに互いに声をかけたり、茶会が無事終わったことを喜んで喜んだり、そして反省したり：そういったことが、青年部を超えて北支部全体でのまとまりとしてできていたことを私は今回の合同茶会で強く感じました。これ

ぞ、「合同茶会」の醍醐味なのだ、と思います。このようなお互いが高めあえる素晴らしい茶会を、これからたくさん経験していきたいと感じています。



加中 麻里

四月十七日(日)生國魂神社・玉秀庵にて、なにわ津青年部さんとの合同茶会があり、昨年入会させて頂いた私は、二度目の参加となりました。

今回は、受付案内を担当させて頂きました。今回、私が大切にしように思ったことは「笑顔で」ということです。そして、ご案内するときは、「大きな声ではっきりと」を心がけました。

喜んでお帰りになるご様子を拝見しますととても嬉しい気持ちになりました。お茶会においても、やはり人と人との関わりには、笑顔が大切だと学ばせて頂きました。

まだまだ初心者ですが、これからもよろしくお願致します。

卒業の辞

逸見 和久

この紙面を頂戴していただきありがとうございます。

ありがとうございます。皆さん本当にお世話になりました。

各支部のみなさんありがとうございます。先輩方

そして、数々のご無礼にお詫び申し上げます。申し訳ありませんでした。至らない点が数々あったと思います。

先生方にも暖かく見守っていただき、そして導いていただきました。

感謝の気持ちを伝える言葉を持ち合わせていません。



ありがとうございます。村司先生ありがとうございました。

最後に天神青年部の皆さんお世話になりました。これからもよろしくお願します。

いつまでも天神青年部らしさを大切に！芯の通った活動を続けてください。

感謝を込めて
後津 浩子

青年部の一員に加えていただき早いもので四年。当のふれ太鼓を読み返すと、新入会の抱負として「卒業まで間がないので短期集中で：」などと書いております。短期集中どころか、何の役にもたためず卒業となりお恥ずかしい限りです。

その頃、なかなか行事に参加できず「申し訳ない」という思いで鬱々としていた私の心を見抜いて、松山部長が「来られる時だけ来たらええからな」と声をかけてくださり、いっきに心が軽くなったのを鮮明に記憶しています。部長をはじめ、たまにしか顔を出さない：つまり何もわからない私に、常に暖かく優しくご指導くださった先輩諸氏に心から感謝申し上げます。青年部は卒業となりますが時間を作ってお茶を続けたいと、そして仕事を卒業したら今度こそ「短期集中」で初心にもどって精進したいと考えております。引き続きご指導よろしくお願いたします。青年部の今後益々の発展と、あわせて皆様のご活躍をお祈りし、卒業のご挨拶とさせていただきます。



株式会社 天馬工務店

代表取締役 出口 重信

TEL 06-6939-4882 FAX 06-6939-4448



HAGOROMO

株式会社 羽衣組
〒663-8184 西宮市鳴尾町1丁目1番5号
TEL0798-41-8441 FAX0798-41-8515



題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所

淡交会 大阪北支部
なにわ津青年部

生駒市小島町 2121-17
小林 智子 方

ご挨拶

部長 塩谷 将規



親先生方をはじめ青年部メンバーの皆さんには、平素よりご厚情やご協力を賜り、ありがとうございます。世の中の環境や風俗、流行などは時代によって変化し続けます。でも人が人として生きていくための気遣いや感謝の心は、どんなに時代が変わっても人同士が接する上で必要不可欠なものです。この想いを基本に、『人』への思いを大切にしながら、でも青年部らしく時代のエッセンスも少し盛り込み、「来て」「して」「触れて」「楽しい、なにわ津青年部」を部長拜命時の目標

に掲げ、早3年の月日が流れました。

私は、茶道の基本は人と人とのふれあいの心構えとその対応(おもてなし)だと思っと思っています。そのためには、まず身近なところから実践が必要と考え。青年部の部長を拜命して2期目を迎えてから、ほぼ毎月のスタッフ会議や全体会議を行うように致しました。スタッフの皆さんやメンバーの皆さんには、公私ともにお忙しい中お集まりいただくことに感謝すると共に、皆さんとお顔合わせをする機会が増え、改めてふれあう機会の大切さを感じる今日この頃です。いよいよ2期目の任期も残り一年。青年部の新体制への移行の話もありますが、基本は何も変わりません。どこまで目標に近づけるのか、皆さんが青年部に入っ

部の実現に向け努力してまいる所存ですので、皆様のご指導ご鞭撻、さらにはご厚情とご協力を心よりお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

天神・なにわ津 合同茶会

「青葉」

牛谷 陽介

生國魂神社での合同茶会に点心席の担当で参加させていただきました。

この日は、テーマの「青葉」どおり桜の花も散り始め青葉が目立ち始めていました。三月に起きた東日本大震災が誰もの頭から離れない中、開催されましたけれど三百人を超えるお客様、親先生、OBの方々にお越しいただいた事はとても感謝の気持ちで一杯です。

お茶会は各席への伝達など難しい事は何点かありましたが、席をかさねるごとにスムーズになっていきました。



なにわ津茶会、合同茶会と何回か参加させていただいて思う事は、ひとつひとつのお茶会で色々な人にお会いできお話しを聞かせていただいたり、意見を交換できたり、ひとの所作を見て学べたり、すべてが勉強になり経験になります。

自分自身も最後に近づくとつれととも楽しくなってきました。もっと多くの行事に参加し、青年部の先輩方からのアドバイスを受け、お茶会もほどよい緊張で始めから楽しめるように成長していきたいと思えます。



合同茶会の濃茶席を終えて

甘利 博子

このたび、合同茶会で濃茶席の責任者をさせて頂きました。本当に多くのことを学びました。

委員長を兼務してからは、初めての茶会でもありました。私の方針として、各場所の目標や役割分担を明確にして、各々の青年部員がこれまでに経験したことの無い部門を、担当して頂く

よう工夫しました。また責任者を通して、道具組みをはじめ、半東の会話、茶巾落としや水屋から濃茶を出すタイミングなど、新たに考えさせられました。

色々と合同茶会の準備を進めておりましたが、去る三月十一日の東日本大震災が起きました。合同茶会の開催も危ぶまれましたが、後日、実施する方向が明示されました。しかし合同茶会を開催するとはいえ、来て頂いたお客様に、どのような趣向とおもてなしで楽しんでもらうか、真剣に悩みました。青年部員で何度も打ち合わせを重ねて、知識のないところは、各々の親先生にご指導を賜りました。



当日を迎えた時、不安も色々ありました。一杯笑顔でおもてなしをしていこうと心に決めて茶会に臨みました。幸い天候にも恵まれて、そして数多くの

有限会社 小泉商店

〒662-0051 兵庫県西宮市羽衣町 7-31-1008



塩谷硝子株式会社

〒531-0071 大阪市北区中津 4-4-14

皆様のご協力の御蔭で、濃茶席が盛会に終えることができました。

お客様をはじめ、各々の親先生や青年部員から「良かったね」と言い合えた時、心から皆様に対して感謝の気持ちで一杯になりました。私一人では決して出来なかったことを、青年部を通して多くの方々に見守られながら、貴重な経験をさせて頂いたことに改めて気がつきました。これを機会に、今後も益々精進していきたいと思いましたが、どうもありがとうございました。

交流会

藤田美術館・淀川邸見学

小田 貴子

今にも小雨が降りそうな空模様の中、太閤園内での昼食と藤田美術館を展覧する交流会に参加しました。

まずは、迎賓館の部屋で割烹瓢箪の松花堂をいただきました。ただしそこは交流会ということで、互いに改めて自己紹介をしながらの会食で、笑いあり緊張ありの楽しいひとときでした。美術館に移動する頃にはかなり雨が降ってきましたが、美術館内はたくさんの方が見学されており、迷惑にならない程度に学芸員の方の

お話をうかがいました。目にするだけではわからない細やかな説明を聞き、ひとつひとつじっくりと観賞することができました。

その後、園に戻り淀川邸の茶室を拝見しました。凝った様々なつくりの茶室のいずれの窓からも庭が見え、雨を含んだ緑がより美しいのが印象に残りました。

お昼の歓談のおかげで、会員同士の知らなかった一面にふれ、見学中も色々とお話することができ、より交流を深めることができました。

教養会

～灰形一日講習～

横川 正義

今回の灰形の講習及び実技を行う教養委員会の教養会に参加させて頂きました。

午前中は灰に関する講義と午後からの実技に関しての説明と金沢・興風園の山本宗茂先生による灰形の実演を行いました。

今まで私は灰に触れる機会が余り無く灰に関して未熟であった事を痛感いたしました。

例えば、灰は炉から風炉又は、風炉から炉へ変わった後、灰を毎年洗うと思っていました。山本先生は毎

日欠かさず炭を入れた場合は、毎年行いが週に一度や二度の稽古を行うといった場合は2、3年に一度かもうと言え七年に一度程度で洗えば良く、過度に洗うと灰が痛むという事を知りました。又その他の流派で使われている灰等の話を伺い改めて灰の奥深さ、扱いの大切さを学びました。



午後からは、山本先生の灰を借りる方や持参した灰や風炉、灰匙を使い灰形の実技を行いました。午前中の講義で灰匙を使用する際は灰匙の重さのみで扱い決して力まずに灰を切るようにして灰形を作ると教えて頂きましたが、灰匙を扱う手は頭で思っているより都合よく動いてくれずどうしても力まず灰形を進めていくのはかなり難しいものがありました。

今回の午前中の講義及び、午後の実技を通して、灰の奥深さ大切さ難しさを改めて

て知り、稽古の積み重ねにより技術だけでなく心も向上していくと痛感いたしました。今後もこういった会に出来る限り参加し経験や技術を向上し、より茶道を楽しんでいけたらと思います。ありがとうございます。



奉仕茶会

大阪城ケアホーム奉仕茶会に参加して

北村 望

なにわ津青年部交流委員会主催の奉仕茶会が、九月四日、大阪城ケアホームに行われました。

この七月になにわ津青年部に加えて頂いたばかりの私にとっては、初めてのお茶会で始まる前から些かはいや、かなり緊張しておりました。しかし、諸先輩方の懇ろな指導と、お客様であるケアホームのご老輩の方の優しい笑顔のおかげで、私の強張った(引き攣った)

顔は徐々に解れていきまし

た。前日から超大型台風が近畿を直撃しており、当日の天候も思わしくないものでしたが、それは対照的に、会場内には譊然とした空気が充溢しており、至る所で笑顔がこぼれていたのが大変印象的でした。



手元が覚束ないお客様のために茶菓子を切りわけ口元まで運んで差し上げたり、お茶をさげて差し上げたりということは、普通にお稽古していたのでは、決して経験することない青年部のお茶会ならではの貴重な体験だと思えます。

今後は、早く一人前の部員になれるよう修養を積んでゆく所存でございますので皆様何卒宜しくお願い申し上げます。

※お茶専門店「りゅうほうえん」

『京の老舗』



〒610-0255 京都府綴喜郡宇治田原町郷ノ日本町97番地
TEL 0774-88-2038 FAX 0774-88-5165

祝ご卒業

辻井 弘美さん
南 昭江さん

先輩方には大変お世話になり、青年部にかける献身さを今後とも伝えていきます。今後ともご指導ご鞭撻宜しくお願いたします。

七夕茶会

七月三日
堺市東文化会館

今回は、「着付け教室と小寄せ茶会」をテーマに行いました。

着付け教室は、初心者も経験者も自ら着物を着ながら、ポイントで個々に応じたアドバイスを先生にいただくことにしました。とても気さくな先生で、着付けについて悩んでいることを何でもお聞きすることができました。皆、とても熱心に習ったので、予定していた一時間半があつという間に過ぎ、時間の許す限り着付けの時間を延長したほどでした。

昼食のお吸い物は、手作りです。星をイメージしてオクラの輪切りが卵豆腐にそえられ、お出汁の味も良く、とてもおいしくいただきました。

その後、お待合で短冊に願い事を書き、床の笹につけて、席入りしていただきました。お茶席の趣向は七夕。暑い季節ですので、少しでも涼を感じていただきたく、葉蓋と洗い茶巾のお点前にしました。私は半東の勉強をさせていただきましたが、大変緊張して上手く説明できず、勉強不足を

身に沁みて感じました

主菓子、天の川をイメージした手作りのものを。お干菓子は、「織姫」という七夕にぴったりなものをお教

えていただき、涼しげな琥珀と共に準備いたしました。お客になってくださった方々に少しでも楽しんでいただけたら...という思いでいっぱいでした。

企画段階から、ワーキンググループの方々と会議を持ち、一緒に取り組めたことがとても嬉しかったです。いろいろと反省点はありませんが、今後には活かして、会員皆でよりよい活動ができたらいいなと思いましたが、最後になりましたが、ご協力下さった方々に、心より感謝申し上げます。

(岩井利佳子)



ガラス作品作り

九月十一日
fresco

ガラス工房 frescoにて、吹きガラス体験を行いました。

三グループに分かれて四番目にさせて頂き、どんな汗だくになりながら、毎回丁寧に教え、サポートして下さる工房の方々に頭が下がる思いでした。

いざやってみると、添えたり、力加減も難しく、緊張の中、形が変わっていく様に嬉しさと感動を覚え、コツを掴みかけるか否かで終了でした。体験を通して、皆様と応援し合ったり、お話し出来ていいなあと思えました。

堺まつり

十月十六日
南宗寺 天慶院

私たち和泉青年部は十六日に南宗寺天慶院にて青年部席を担当させていただきました。

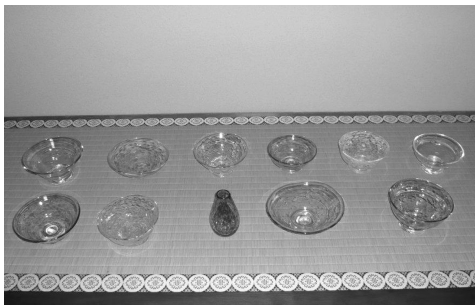
前日からの雨が明け方近くまで降り続いていましたが日中は良いお天気に恵まれ二六六名のお客様をお迎えいたしました。

「お茶の心得がないのですが、いいですか？」と受

お呈茶は工房の中の木のベンチでほっと一息し、頂きました。又昼食で近くのカフェに行くのに外に出かけると、とてもいい風が吹き、暑さから気持ち良さをぐっと感じる事が出来、食事もとても美味しく頂きました。

後で久保惣記念美術館も鑑賞させて頂き、味のある浮世絵作品、もうひとつのピアノコンサートではオルゴールのような音色と目が覚めるような響きを感じ、更に感性豊かに有意義に過ごせ、感謝致します。

(中村 輝美)



付でお聞きになられる方や小さな子どもさんとのご家族の方、外国の方と日頃あまり茶道と縁のない方もたくさんお越しいただき「お茶もお菓子もおいしかったです」と喜んで下さいました。

関東地方から「利休ゆかりの地」を観光されていてお越しになられた方に「さすが堺ですね。青年部だけでこんな立派なお席をささる...」とお声をかけていただき、嬉しい反面、堺とい

う地でお茶をさせて頂いたいている事に改めて身の引き締まる思いがいたしました。初めての大き寄せのお手伝いでしたが、事前にご準備いただいた役員みなさんのお蔭で戸惑うことなくお手伝いできました。また、ご指導下さり当日の水屋等

平成23年度行事

- 2月6日(日) 合同総会 泉の森ホール
- 4月3日(日) 花見茶会 SAYAKAホール
- 7月3日(日) 七夕茶会 堺市立東文化会館
- 9月11日(日) ガラス作品作り fresco
- 10月16日(日) 堺まつり 利休のふるさと大茶会 南宗寺 天慶院
- 12月11日(日) 納会 堺市立西文化会館

祝ご卒業

中原 昌子 さん

ご卒業おめでとうございます。できることならずっと一緒にいたい気持ちでいっぱいですが、先輩から学んだことを忘れず精進致します。どうかこれからも温かい目で見守って下さい。長い間ありがとうございました。

(宮本 静保)

青 泉

題字は鵬雲斎大宗匠筆

発行所

淡交会 堺支部

大仙青年部

泉南郡田尻町嘉祥寺 853
山本 繁美 方

ご挨拶

部長 山本繁美



本年は未曾有の天災が次々と起こり、誠に心を痛めた次第です。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

お茶をできることが当り前のことのように思っていました。が、無事であることの貴さを再認識させて頂きました。

私が、部長としての大任を仰せつかって一年が経過しました。拝命しました当初は、戸惑いと気負いで肩に力ばかりが入ってしまいう日々でした。また、自分に対する新たな精進の場であるとか、組織としてどうあるべきかとか、難しいことばかりを考えがちでした。でも、やはりお茶を通して楽しむこと、良き仲間作り

をすることが何よりも大事なことで改めて認識し、その為にまず、自分やスタッフが楽しもうと考えるようになりました。

そして今年を振り返り、一つ一つの行事には、自分以外の主人公が存在したことにとても喜びを感じています。

このようにして、一年間皆さんに助けられ、いつの間にか程よく肩の力が抜ける自分に気づけたことに感謝し、来年は、今年以上に多くの感動を分かち合える、そんな一年になればと思っています。

平成23年度 年間行事

- 1月30日(日) 南宗寺 堺支部初茶会
- 1月21日(金) 南游庵 新入会員歓迎茶会
- 2月6日(日) 泉の森ホール 和泉大仙合同 初総会
- 4月24日(日) 安達徳 組紐作り体験
- 5月29日(日) ウェスティ和菓子作り体験
- 8月6日(土) 南游庵 夕涼み茶会
- 10月15日(土) 南宗寺 堺まつり
～16日(日) 利休のふるさと大茶会
- 12月11日(日) 南游庵 納 会

新入会員歓迎茶会

一月二十一日(金)

南游庵

親先生の多大なるご協力のおかげにより、今年には五名もの新入会員をお迎えすることができました。あまりの嬉しさに、昨年の新入会員も含めて「新歓茶会」をさせて頂きました。

一月ということで、簡単なお雑煮の点心とお茶一服道具はすべて(釜以外)青年部会員の手作りというお席でした。青年部に入るとこんなお道具を手作りするチャンスがあるんだ！なんて思っていただけなら嬉しいな、などと思いがら…。

新入会員の皆さま これから末永くよろしくお願ひいたします。美味しいお茶、美味しいお菓子、美味しい

お料理、何より楽しいお友達にたくさん出会える青年部になりますように一緒にやっつけていきましょう！

芦田佳世子



手作りの干菓子 辻占



合同初総会

二月六日(日)

泉の森ホール

二年に一度の和泉・大仙青年部の合同初総会を開催致しました。

昨秋の四十五周年記念茶会にて名誉支部長 南宗寺 田島老師から頂いた「関」のお軸が掛けられた茶室でお茶をいただき、恵まれた青年部だと幸せな気持ちになりました。

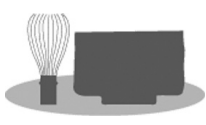


ご来賓の紹介、両青年部の役員紹介や行事報告が行われ、先生方と御一緒に昼食をいただきました。先生が「目的があつて皆でそれに向かうことは素晴らしいことね」と微笑まれ、先生が青年部で活動していた頃のお話をしてくださいました。

まだまだ未熟な私にとってこの日の昼食を兼ねた親睦会は大切な時間になりました。ありがとうございます。

名誉支部長、支部長、親先生方をお迎えするのは緊張しましたが気持ちの引き締まる初総会になり、一年の初めに行く大切な行事だと改めて感じました

西浦 郁恵





和菓子作り体験 五月二十九日(日) ウェスティ

四月も終わりというのに肌寒い天気の中、今年度最初の委員会行事の組紐体験に参加しました。下見の時に初めて組紐を体験したのですが、今回も会館の方に最初に紐の組み方を教えて頂き、それぞれはじめはおそろおそろ、慣れてくると口数も減っていくくらい熱が入って帯締めや紐を仕上げました。こういう単純な作業が大好きな私にはとても楽しい作業でした。

組紐作り体験 四月二十四日(日) 安達徳

全く同じ作り方なのにこんなに色の組み合わせによって帯締めの感じが変わるのかと驚きましたが、参加された方それぞれの個性が出た一本が仕上がったのではないかと思います。昼食は近くのイタリア料理のお店でした。食べ始める頃に雷が鳴って大雨が降ってきましたが、お店を出る頃には晴れていたのです。あとは京都散策を楽しみました。



季節外れの台風が近づき朝から『大雨警報』が出ていた日でした。講師は堺まつりなどのお茶会でお世話になっている、おかよし味匠庵のご主人、岡田尚彦氏をお迎えし、第二委員会の行事として和菓子作り体験とお茶会を催しました。岡田さんの「無添加のお菓子が減ってきているので、どうか今日食べた味を忘れないで下さい」とのお言葉を聞き、流されずこだわりの続けられているのだと感じました。厳選された材料で手早く仕上げもちを作られ、冷ましてる間に薯蕷饅頭、季節の和菓子二

種を教わりました。作っていただいたわらびもちは、お言葉通り、もちもちして本当に美味しかったです。また自分で作ったお菓子でいただいた、後のお茶会の一服もいつもより美味しく感じられました。『和菓子作り』の前に第二委員会の皆でお揃いの『古帛紗作り』も楽しかったです。その日作った古帛紗でお茶をお出ししました。たぶん古帛紗を使う度、この日の事を思い出すのだと考えると、本当に印象に残る貴重な体験をさせていただいたと思います。

長島江美佳

夕涼み茶会 八月六日(土) 南游庵

二十三年度卒業生
ご挨拶
奥野剛士

大仙青年部を卒業するにあたり、これまでの青年部活動を振り返ってみて言葉で表すなら「感謝」の一言に尽きます。何気なく軽い気持ちで始めた「茶道」とこれほど深く関わるとは思ってもみませんでした。先生に勧められて入会した青年部にこんなにも長く籍をおくとは想像もしませんでした。青年部の十一年間に、作陶・ガラス細工・茶杓削り

大仙山柳
青年部 これより先も
アナログで (地デジカ)
帯ほどき お腹のあせも
夏のおもひで：
(大仙部屋前頭)
電热器、スイッチひとつで
炭手前
青年部 友達百人 (お喜〇金)
できました
(お後がよろしいようで)

茶道具・華道具・美術工芸・記念品

株式会社 小森商店

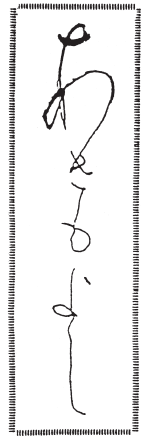
直販部：堺市堺区熊野町東3丁2-26 〒590-0946
TEL.(072) 233-3530
FAX.(072) 221-6752

文政元年創業 茶と茶道具の店

松倉茶舗

〒590-0946 堺市堺区熊野町東1丁2番22号
Tel.072(238)6188 Fax.072(222)2728

未来へ ～つなげよう紀州から～



発行所
淡交会 和歌山支部
紀州青年部
和歌山市鳴神 248-3
吉備 万里子 方

ご挨拶

部長 吉備 万里子



はじめに、今年三月の東日本大震災で被害に遭われた方々、また九月の台風十二号で被害に遭われた同郷の皆様にご協力と感謝申し上げます。

さて、本年より部長を拝命し、その責任の重さを感じながらなんとか務めさせていただき、一年になろうとしています。これも先生方のご指導はじめ、青年部皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

本年は恒例の行事に加え、地区大会薄茶席、対外的な事業として施設訪問、対内的には佐川美術館鑑賞や懐石勉強会などを行い、またホームページを新しく作成することが出来ました。会員の前向きな取り組み

に始まり、一生懸命遂行していただけのおかげで楽しく充実した活動内容であったと思います。日々憂い多き昨今ですが、情熱を持って会員皆様とともに進んでまいりたいと存じます。御家元様、総本部をはじめ、親先生・諸先輩方のおかげで、お一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

初茶会
一月十六日
温山荘



年始の気持ち改まる空気の中、一月十六日に初茶会が執り行われました。北風が吹きさす中にもかかわらず、大勢のお客様にお越しいただき、温山荘

豪州ミツシヨウ 報告茶会
一月二十三日
和歌山県民文化会館

新部長が就任し、新しい期が始動した同日に豪州ミツシヨウ報告茶会が県民文化会館のお茶室で行われました。

本事業に参加したメンバー全員、大変有意義で貴重な体験をさせていただきましたと報告を兼ね、オーストラ

の中で、ほっこり温まるお茶席を設けることができました。

青年部が担当させていたいただきました薄茶席では、千歳盆のお点前にてお客様とともに新年のお祝いをしていただき、お点前をしていて心地よい緊張感がありました。

すっかり冷えきった体も、一碗のお茶で温もると、お客様の顔にもにっこりと笑顔が浮かびます。

この一年間、お茶を通して、こういって一期一会を何回経験できるだろうか、といううれしい予感の中、初茶会を無事終えることができました。

菊谷 友里

リアでの雰囲気を感じても感じていただけるような趣向でお茶会を行いました。マーガレット先生より拝領したお茶約、お花はオーストラリア国花のミモザ、またお菓子は現地で良く食べられているラズベリーを前日に焼いてお出ししました。

観梅茶会
二月二十日
紀州田辺梅林

二月二十日、紀州田辺梅林にて観梅茶会を開催致しました。今年例年になく寒さのために梅の開花が遅れていましたが、当日は天候もよく、暖かな一日となりました。一気にお花したように思います。梅の花の良い香りの広がりとともに、梅林は大変な賑わいとなりました。

私たち青年部のお茶席にも、ご家族連れや若いカップル、お友だち同士など、多くの方が来てくださいました。ツリーングや、観光バスで遠方よりこられた方も多く、梅林を眺めながらお茶を一杯という、ほっと一息つける癒しのひととき



感じていただけたことと思っています。山崎 絵里子



になったのではないかと思います。私は、お運びの手伝いをさせていただいたのですが、「今年もお茶席楽しみにしてたんよ。おいしかったよ、ありがとう。」と声をかけてくださるお客様もいて、こちらとしてもうれしく、楽しい時間を過ごすことができました。

伊藤 千津子



施設訪問
七月九日
吉備苑

七月九日、有田川町の吉備苑に訪問させて頂きました。梅雨も明け大変暑い日でありましたが、職員の方々にご協力頂きながらご利用者のみな様と楽しい一日を過ごさせて頂きました。「七夕」をテーマに各テーブルに折り紙でひこ星、おり姫を作って雰囲気を楽しんで頂きました。茶会も進むにつれ、「昔、私もお茶習ってたよ」、「お抹茶飲むの久しぶり」と話しもはずみ、あっと言う間に時間が過ぎていきました。「今日は本当にありがとう」と何度も言って頂き、



「こちらこそありがとうございます」と言う感謝の気持ちでいっぱいでした。また、このような機会があれば是非、参加させて頂きたいと思えます。準備にあられた委員の皆様、ありがとうございました。
永田 久美

佐川美術館 鑑賞会
六月十九日
滋賀県

心配されたお天気にも恵まれ、梅雨の最中、佐川美術館鑑賞会に行ってみよう。楽吉左衛門館では数々のお茶碗にため息をつき、お茶室の見学では日常を忘れ、静かな山里の水辺にいるかの雰囲気の中、こんなお茶室に「お呼ばれてみたい!」「お茶事をしてみたい!」とそれぞれに思いを馳せながら美術館を後にしました。



たねや日牟禮ビレッジでは早々に昼食をとり、焼き立てバームクーヘンに並ぶ人、ビールを片手にゆっくりする人もあり、両手一杯

に買い物をしバスに乗り込みました。叶匠寿庵「寿長生の郷」のお茶席では、出来立てのお菓子「青梅」を頂き、数々の草花の説明をしていただきながらゆっくりと散策することが出来ました。今日一日で普段のお稽古では感じにくい草花の自然に生えている様子やお客様をもてなす心意気等勉強することができ、楽しい一日を過ごさせて頂きました。お世話していただいた部長はじめ、事業委員会の皆様、ありがとうございました。
福田 真記子

新入会員 募集中!!

平成二十三年度 新会員の皆様

岡田 亜紀さん
河野 真紀子さん
西中 麻衣美さん
林田 敦子さん

よろしくお願ひします



祝 卒業
宮本 範代さん

長い間、お疲れ様でした。毎年の観梅茶会ではお世話になりありがとうございました。今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

- 平成二十三年度 行事**
- 初茶会 一月十六日(日) 琴ノ浦温山荘
 - 総会・豪州ミツシヨ 報告茶会 一月二十三日(日) 和歌山県民文化会館
 - 近畿第二ブロック 協議会 二月十一日(金) 太閤園
 - 観梅茶会 二月二十日(日) 紀州田辺梅林
 - 佐川美術館鑑賞会 六月十九日(日) 近江
 - 施設訪問 七月九日(土) 吉備苑
 - 近畿第二ブロック 研修会 十月一日(土)~二日(日) ハートンホテル船場
 - 懐石勉強会・会員茶会 十一月二十三日(水) 河南コミュニティセンター

- 平成二十四年度 行事予定**
- 初茶会 一月二十二日(日) 琴ノ浦温山荘
 - 総会 二月五日(日)
 - 観梅茶会 二月十九日(日) 紀州田辺梅林
 - 会員増強茶会 四月
 - チャリティー呈茶 九月又は十一月
 - 全体茶会 十月
 - 作り物(ガラス細工) 十一月又は十二月



テーマ：**和気あいあい**

目標：凜としたおもてなしをしよう

きのくにに

発行所

淡交会 南紀支部
きのくに青年部
和歌山県新宮市橋本 2-11-4
立岡 聡視 方

ご挨拶
部長
立岡 聡視



親先生方を始め青年部会員の皆様には、平素よりご厚情、ご協力を賜わりありがとうございます。

この度は部長予定者のご懐妊があり、急遽、部長職を努めさせて頂くことになりました。慌ただしく引き継ぎをし、就任後近畿地区大会があり、紀州青年部、学校茶道連絡協議会と共にお席を担当させて頂き、きのくに青年部としては、大きな大会のお席担当は会員一同初めての経験でありましたが、一同は多くを学び得ることができたことと思



当日のお手伝いのみとなり、事前打ち合わせ、準備等はブロックの皆様や、紀州青年部の方々にお任せする形となりましたが、東北大地震という未曾有の惨事が起こり、一日のみの開催となりました。その後のお席担当の方の的確な指示のもと、みな浮き足出すことなく、淡々とお茶会を進行していく姿には、すばらしいものを私自身感じ、会員一同もたくさんのかを学んだと申しておりました。ブロックの皆様、お世話になりました。ありがとうございました。

私事ではございますが、二年前に大病を患い、動けないわたしの代わりに青年部会員の方がお互いを助け合い、青年部活動を盛り上げていただきました。任期一年、肩の力を抜き、私なりに皆様にかかお返してできればいいかなと思ひ、青年部活動に邁進して参りたいと思ひます。ありがとうございました。

青年部活動
を通して



きのくに青年部は和歌山県南部〜三重県南部と、県をまたいで広範囲ですが、会員数が少なく、普段活動できる会員さんも限られてきています。地元の高校茶道部にお手伝いしていたこともあります。

昨年度のテーマは「和気藹々」。少ない会員数ながらも、昨年度も楽しく活動を終えることができました。年末年始の納会、総会は料理屋さんで行いました。おいしい料理をいただきながら、宗家研修、近畿地区大会での出来事を話しました。その雰囲気はまさに「和気藹々」。

青年部の活動をするにあたっては、まず会員同士が楽しい仲間と活動できていると思うことが大切なのかと思ひます。

この記事を書いている平成二十三年九月、きのくに

青年部の会員がいる東紀州では台風十二号の猛威により、各地で被害を被りました。

毎年私たちは世界遺産であり、熊野三山の一つである那智大社で行われる「あげいん熊野詣」というイベントに参加させていただくのですが、那智大社へ行く道も寸断され、付近の街は土砂で悲惨な状態となつて

いると聞いています。

平成二十三年度の「あげいん熊野詣」は中止となりました。いまはただ、早い復興と、住民さんの心の回復を祈るのみです。

古田 希美



お見舞いと
御礼

三月十一日の東日本大震災により被災された皆様、また台風十二号により被災されました皆様におかれましては心よりお見舞い申し上げます。

きのくに青年部の会員が住む地域も台風十二号により浸水、土砂崩れによる被害が大きく、民家や、世界遺産である熊野古道、那智大社なども大きな被害を受けました。会員は皆無事でしたが、浸水や土砂などにより家を被災した者も少なくありません。一日も早い復興を祈る毎日です。

ボランティアの方々や、他の市町からたくさんの方が応援にかけつけていただき、皆が協力し助け合うことの大切さ、それがどれだけ被災者の方々の心の支えになるかということを強く実感し、とても感謝しております。

最後になりましたが、ブロックの皆様方からはたくさんのお見舞いやご配慮をいただき、まことに感謝いたしております。ありがとうございました。

青年部宗家研修

平成三十二年十月十六日
加古・磯千鳥・珠藻・きのくに青年部 合同

四青年部合同で宗家研修が実現しました。各青年部長はじめ会員の皆様のご尽力により、希望の土曜日に開催していただくことができ、多くの会員が参加することができました。ありがとうございます。

【宗家研修日程】

「開校式」

「講義研修」

演題

「大徳寺と千家の関係」

講師

谷端 昭夫氏

(裏千家学園講師)

「昼食・交流会・資料館見学」

資料館

「茶の湯の名品」

〜 広田不弧斎

コレクション」

「御祖堂参拝・茶室見学・呈茶」

宗家にて

「金毛閣拝観」

大徳寺

「聚光院・利休居士墓参」

大徳寺

「挨拶・解散」

大徳寺

大徳寺

大徳寺

大徳寺

大徳寺

大徳寺



宗家研修前日、四青年部交流夕食会ががんこ寿司にて行われました。くじを引いて席を決め、各テーブルに色んな青年部の方達が入り混じっての夕食会で、各青年部の行事、面白話、苦勞話などを聞き、勉強になることや、共感できることもたくさんあり楽しい時間でした。

貴重な体験をさせていただいた一日でした。皆様お疲れ様でした。



一般では入れない金毛閣興味津々です。二階へあがる急な階段は着物ではなかなかハードでした。



研修当日は全員が着物姿で登場。皆色とりどりのあざやかな着物で、勢ぞろいするとなかなか迫力がありました。

近畿地区大会での貴重な体験

三月十二日土曜日、近畿地区大会が和歌山市にあるホテルアバローム紀の国と県民文化会館において開催されました。

私は前日の十一日金曜日に会場のお手伝いに参加させて頂きました。ただ指示されるままに動いていたのですが、大きな会議室のような部屋がお茶席へ変わっていく様は、それはみごとなものでした。机とイスを全部入れ替えてクロスをかけて…どんな風になるのか想像もつかないまま準備は進みます。完成したときは、「すーい！」の一言でした。



と思います。微力ながらお手伝いさせて頂いたことを嬉しく思います。いい汗かいた半日でした。ありがとうございました。滝本 美保

平成三十二年年度年間行事

- 一月十六日 新年総会
- 二月十一日 青年部近畿第二ブロック協議会 (太閤園)
- 三月十二日 近畿地区大会 (和歌山市)
- 四月十七日 お菓子祭り (新宮市仲ノ町)
- 五月二十二日 新宮市商店街祭 (西村記念館)
- 六月二十五日・二十六日 チャリティ茶会 (生國魂神社)
- 十月一日・二日 ブロック研修会 (ハートンホテル)
- 十月二十三日 あげいん熊野詣 (那智大社)
- 台風十二号により 中止
- 十一月三日 佐藤春夫・筆塚協賛茶会 (新宮市市民会館)
- 十二月 納会

